

松ヶ崎少年補導だより

下鴨少年補導委員会
松ヶ崎支部

発行責任者
支部長 北川 憲一

「おはようございます」の声に学ぶ

京都市立下鴨中学校 教頭 西村 周

灼熱のような夏にひと区切りが
つき、朝夕は涼しい秋の気配
が感じられるようになりました。
松ヶ崎少年補導支部の北川会長
はじめ皆様には、平素からお世
話になり、大変感謝しております。
私も緑豊かで、美しい鴨川
の流れと共に佇む素晴らしい環
境の下鴨中学校に赴任させてい
ただき、はや二年が経とうとし
ています。

本校の教育方針は、「自ら学
び考え、自らを知り、共に歩
む」「豊かな心を持ち、粘り強
く、未来を拓く」の大目標によ
り教育活動を展開しております。
また、学校生活は生徒達にとつ
て落ち着いた状態で過ごせる学
習環境にあります。この環境が
継続している源は、生徒会活動
から発信している「あいさつ運
動」にあると考えます。
小学校から培われてきた道徳
の中に「礼儀」という項目があ
ります。心を形にする適切な発
言や時と場合に応じた言動をと
ることを、六年間を通して学ん

できました。その教育を受けて、
中学校でもさらに義務教育最終
段階に向かって、社会規範自体
が揺らぐような社会の変化に対
応できるような道徳性を目指し
ているところです。しかしなが
ら、生徒達が成長すればするほ
ど反比例のように、大きな声を出
して挨拶することの気恥ずか
しさや素直になれないもどかし
さなどに押されて、礼儀を形に
表せないような態度に出る時も
あります。きつとご家庭や地域
においても、そう感じられる時
があるのではないのでしょうか。
下鴨中学校の
生徒達は、そ
んな険しい発
達段階をも見
事にクリアす
べくあいさつ
をしています。
もちろん、大
きな声を出せ
ない生徒もい
ます。しかし、
小さな声で

あつたとしても、心が形に表れ
ている態度は十分窺えます。集
団で「良い」と思うことには集
団で取り組むこと……たとえ
きっかけが大人主導の発信で
あつたとしても、最終的には自
らで行動できる力となれば、そ
れは自ら道を切り拓くことにつ
な갑니다。この力はやはり家
庭の教育力であり、地域の見守
る心の基盤があるからこそとい
えるでしょう。
松ヶ崎の生徒達は、本校から
最も遠い地域の子とも達です。
しかし、毎日遅刻することなく
笑顔で挨拶できる元気な生徒達
です。この笑顔の秘密を半永久
的に守っていきたいと思うのは、
きつと私だけではないと思いま
す。今後共下鴨中学校の生徒達
をどうぞ宜しくお願い致します。



正田町 S.S.さん

平成二十八年年度
いじめ・非行防止標語
優秀作品

支部長賞
思いやり
みんなが大事な なかまたよ
五―一 おく田 りんか

小学校長賞
ごめんなさい
この一声で 仲直り
六―二 中川 雄 稀

PTA会長賞
考えよう
ほくと君の 大切さ
六―一 飯田 健太

佳作
ないてたら
やさしいことば だいじだね
五―一 金 谷 煌太郎

泣いてる子
声かけてみて なかよくする
五―一 中野 絢仁

たすけあう
みんなひとつに まつがさき
五―一 北川 結生

見直して
自分がやった 悪いこと
五―二 渡 邊 一 禅

考えて
言葉のブレイキ かけようね
六―二 斉 藤 魁士

ありがとう
そのひとことで ぼつかばか
六―二 菊 池 優里

さしのべる 手のぬくもりを どの子にも

ひいおばあちゃんの戦争

松ヶ崎小学校 六年 板垣明音

去年は、戦争が終わって七十周年でした。そんな節目の年に父のふるさとである佐渡(新潟県佐渡市新穂湯上)で、戦争体験者である私のひいおばあちゃんのトクさんにお話を聞きました。

トクさんは一九一九年(大正八)十二月十六日、佐渡郡新穂村湯上寺上の石川弥蔵家で生まれ、今年で九十七歳になります。行谷小学校に通い、四年生までしかなかったのですが、五、六年生は新穂小学校に移って学びました。その後、高等科に二年間通い、卒業したあとは石川家で百姓をしていました。官行造林という杉や松を植える仕事で、男分の給料をもらったそうです。

結婚したのは昭和十七年の春で、お見合いも式もありませんでした。相手の板垣覚一さんは、話したことも会ったこともない人だったのです。



覚一さんは小学校を出たあと、佐渡郡河崎村の久知尋常高等小学校を

三年まで行ったそうです。板垣家も農家で、田植えなどの忙しい頃板垣家と石川家を行ったり来たりで百姓の仕事をして、後に「おれは農機具だ」と言っていました。そんな覚一さんに出征の話がきました。翌年の六月一日に出征することになったのです。出征の話聞いてから実際に出征するまで一週間あるかないかでした。覚一さんが出征するときは、ただ「行ってらっしゃい」という感じだったそうです。出征前に子どもを身ごもり、もうお腹が大きかったそうです。七月二十三日に娘・千恵子(私の祖母)が生まれました。

お産のために石川の家にもどり、四十日ほど経ってまた板垣の家にもどりました。水くみなどはトクさんの仕事だったそうです。トクさんは官行造林をしていたから、かつぐのは上手でした。その次の年からは田んぼの作業もしたそうです。

覚一さんに葉書や手紙を出すと、返事が返ってききました。千恵子さんの写真も生後四十日の時と百日の時の二回送りました。十九年五月末の葉書が最後でした。

覚一さんは歩兵第八六聯隊第六中隊に配属され、中国に一年ほどおりました。六月二十四日、上海港から輸送船団に乗船し、九龍港を経て南支那へ向かっていました。

その洋上で七月四日、潜水艦の攻撃を受けて輸送船団のうち三隻が撃沈され、そのうちの一隻に乗船していたようです。覚一さんが亡くなったのが分かったのは、それからずいぶん経ってからでした。戦死公報は役場の人が持ってきました。

後に聞いた話ですが、親戚で同じ隊にいた人は先に渡って何ともなかったと言っていました。覚悟はしていたし、「しつかりしなれば」とトクさんは思ったそうです。戦死したと分かったとき、覚一さんの母で当時六十二歳だったモクさんは台所においてシヨックですわりこんでしまいました。そこでトクさんが「ばあさん、覚悟しとつたはずだろ。泣いとつたらならん。泣いとつたらどうする。それしたら戦死したもんが泣く」と言いました。覚一さんが行くときに、「生きて帰れん」と言ったので、そうなるかなと思つたそうです。しばらく経つてから、遺骨箱を取りに行つたけれど空箱でした。遺品もなかったそうです。

村で合同のお葬式をしました。その年のうちで、同じような時に亡くなった人と一緒でした。

戦争が終わりました。再婚の話があがりましたが、トクさんは再婚する気はありませんでした。それより「うち建ててえなあ」と思つたそうです。山の木を使い、切つてもらつて製材も頼んで、運んで建てました。それが今の家で、それで今の私があります。

戦争の時代は何をするのもすごく大変だということが本当によく分かりました。私だつたらと考えると、ひいおばあちゃんみたいに強く生きていけないと思いました。

戦争のせいで覚一さんは娘の写真を見ただけで、抱っこすることはできませんでした。そんなひどい戦争は絶対になくさなければいけないと思います。

窓

「ハートの形をしています」

木ノ本町 山中歌織

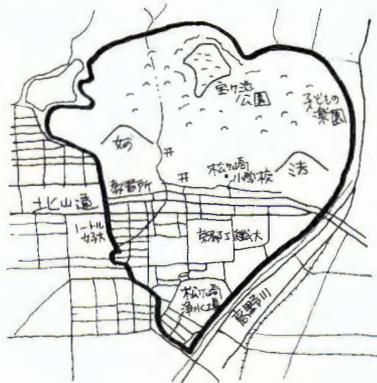
「松ヶ崎? なんもあらへんよ」と、言つたり聞いたりしますが:

山、川、田畑があり。神社、お寺があり。保育園、学校、駅もあります。少し行けば、買い物にも困らず。考えてみると、何でも「ある」ことに気づきます。

朝に夕に聞こえる子どもたちの声。時報がわりとなり、山の色や田畑に実る作物を見て季節を感じる。ほどよい環境を気に入っている人も多いのではないのでしょうか?

そして、地域を作っているのは住民です。穏やかな雰囲気。守り継承してくださった先人はもちろんいま地域生活が円滑に行われるようにと、目配り気配りしてくださっている方々の存在を忘れる事なく、当たり前だと思つている事を「ある」という視点でみてみると気づくこと...

子育てしていると何かと悩みはつきませんが、子どもたちが大人に挨拶をし、一言二言:声をかけてくださっているのを

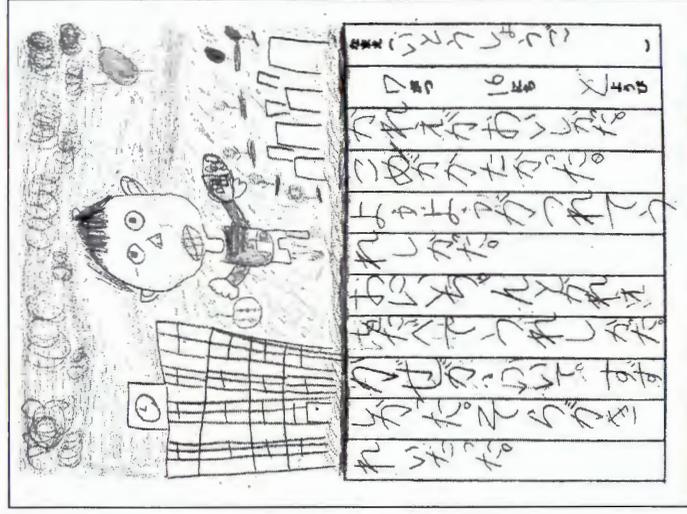


松ヶ崎学区は♡の形!

見かけた時「大丈夫」という言葉が浮かび、松ヶ崎学区がハートの形をしていることを思い出します。大人だけでなく、子どもたちにとっても、挨拶を交わせる人がいるのは心地良い事に違いありません。知らず知らずのうちに学んでいる事も多々あるでしょう。

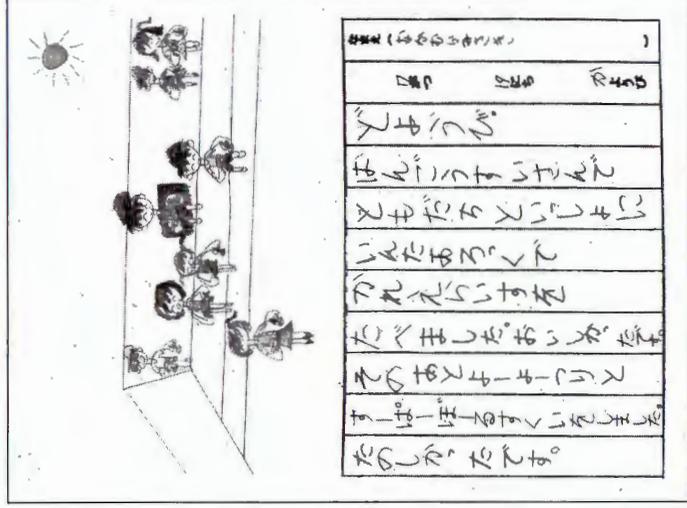
ご近所とのつきあい方は、いつの世も関心事の一つにあげられますが、一つの心配り、一つの会話が人を和ませ違つた景色に見えるかもしれせん。ハートの中で生活している:そう思えば、少し違つた景色にみえませんか?

※「孫たちへの証言」第29集 (朝新風書房に掲載されたものをそのまま転載させていただきました。



松ヶ崎 (ながむらさき) 1
 7月 16日 どよむ
 かねがおいしかった
 こめがたがた。
 よかよかつれてう
 れしかった。
 おいちゃんねえ
 たべでうれしかった
 りかた。いすす
 なた。そらがさ
 れいたな。

松ヶ崎小学校 1年 いとうしょうこ

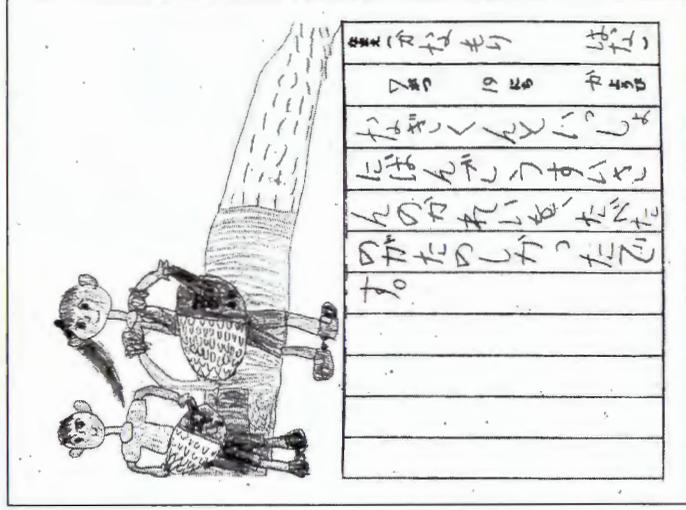


松ヶ崎 (ながむらさき) 1
 7月 16日 かまき
 どよむが
 はんごうすいさんて
 ともだちといしょに
 いたあろくで
 かねをいすえ
 たべました。おいがな
 そのおとよーつりと
 すばーぼるすくいをま
 なたがたです。

松ヶ崎小学校 1年 なかむらみさき

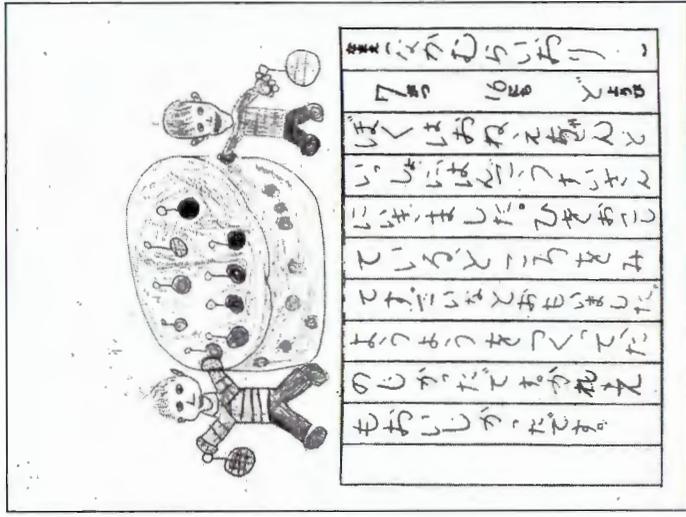
7月16日
飯ごう炊さん

第31回
子どもフェスティバルのお知らせ
 本年も11月3日(文化の日)に実施します
 多数のご来場をお待ちしています



松ヶ崎 (ながむらさき) はな
 7月 19日 かまき
 なぎくんといしょ
 にばんごうすいさ
 んのかれいも、たが
 のがたうれしかった
 ず。

松ヶ崎小学校 1年 かなもりはな



松ヶ崎 (ながむらさき) 1
 7月 16日 どよむ
 ぼくはおねえさんと
 いしょにばんごうすい
 さんをしました。ひそおこ
 しているところをみ
 てよ、いなどおもいま
 ぶつおつをくこた
 のしかたでもかねえ
 もおいしかったです。

松ヶ崎小学校 1年 なかむらいおり



北川会長のあいさつから
スタート!



高学年がお手伝い
をしてくれました



今年もおいしいカレーができて
ました!



ヨーヨーつりは大人気!!



はんごうのお米を洗っています

支部活動 状況報告

前号に引き続き、当支部のその後の活動状況につき、ご報告いたします。

- 1 四月六日 松ヶ崎少年補導だより第六十二号を発売、三〇〇部を印刷、市政協力委員さん、隣組長さん方のご協力により、全世帯、関係機関に配布いたしました。
- 2 四月二十四日 支部三役会
平成二十八年度当支部の総会の議案、実施日時、年間行事等について協議いたしました。
- 3 五月十一日 支部定期総会
平成二十七年度決算、監査報告、事業報告、平成二十八年度予算案、事業計画案について審議し、満場一致にて決定。
- 4 六月二十二日 松寿会
年次総会
- 5 同日 支部役員会
少年を明るく育てる京都大会、社会を明るくする運動地域集會、飯ごう炊さんの打ち合わせを行いました。
- 6 七月二日 第三十八回少年を明るく育てる京都大会

- 7 七月七日 地生連役員会
舞を観賞しました。
- 8 七月九日 第六十六回社会を明るくする運動地域集會
保護司会など関係各団体と共催。京都府健康福祉部業務課課長 半井達弥氏を講師に招き「ほんとうに知ってほしい薬物のこと」と題した講演を拝聴しました。
- 9 七月十四日 地生連総会
七月十六日 飯ごう炊さんとヨーヨーつりの会
高学年の子供たちが役割分担をして飯ごうでご飯を炊き、カレーを作りました。みんなでおいしく頂きました。その後、ヨーヨーつりを楽しませました。
- 10 同日 いじめ・非行防止標語選考会
松ヶ崎小学校の先生方のご協力により、五年生、六年生の生徒から応募のあった標語の中から、優秀作品九作品を選びました。
- 11 七月三十日 松ヶ崎自治連合会主催の「夏まつり」
模擬店のお手伝いなど、協賛参加しました。
- 12 九月十一日 松ヶ崎児童館親子まつりのお手伝いをしました。
- 13 九月二十七日 松ヶ崎少年補導だより第六十三号編集集會
原稿の作成、寄稿原稿の点検、紙面の構成、配置などの作業を行いました。後日、文字の校正や誌面のレイアウトにつき、手直しいたしました。
- 14 その他、青色回転灯装着車によるパトロールを随時実施しております。
また、古紙回収を毎月第四金曜日に行っています。皆様のご協力に感謝いたします。
以上ご報告申し上げます。
支部長 北川 憲一



下鴨少年補導委員会松ヶ崎支部組織表 (平成28年・29年) 順不同 敬称略

